

# クリニックレター 2021年7月

〒663-8113 西宮市甲子園口2-8-31 医療法人岐黄会西本クリニック

TEL:0798-65-5111 FAX:0798-65-5115 HP: <http://www.nishimotoclinic.jp/>

このクリニックレターは、西本クリニックから患者様への情報を、すばやく、わかりやすくお伝えするためのお手紙です。原則月1回の発行で、スタッフが皆さんに知っていただきたい事をビビッドに発信していきます。

## 64歳以下の方の新型コロナワクチン個別接種についてのお知らせ

65歳以上の高齢者の方を対象とした当院のワクチン接種は、7月21日で1回目すべて終了し、その後は64歳以下の方々への接種をおこなう予定です。しかし、先日、西宮市から唐突に下記の内容の通知が送られてきました。すなわち、**7月8日に国から兵庫県に配布されるワクチンの量が大幅に減らされるため、開業医が希望する本数を分配することができない**、ということです。当院では7月26日以降の2週間で約60名の予約枠を設ける予定でおりますが、この期間中のワクチン分配量の決定が7月15日(木曜)になるということですので、**7月26日から8月7日までのワクチン接種のご予約は、7月16日以降にお電話でお受けすることとさせていただきます**。なお、今回接種対象となるのは、60~64歳の方、59歳以下の方で下記基礎疾患を有する方、59歳以下で接種券が送られてきている方です。接種券をお持ちでない59歳以下の方に関しては、ワクチン供給の見込みが立たないため個別接種の予約は控えるように市から通達が来ております。西宮市の集団接種や県・国による大規模接種に関しては、年齢制限がないところもありますので、それぞれ、西宮市、兵庫県、防衛省のホームページでご確認のうえ、ご予約をお願いいたします。

## ワクチン接種後の生活

現在、新型コロナウイルスの日本での流行はデルタ株と呼ばれる変移種が中心となっています。このデルタ株には三つの警戒すべき特徴があると言われております。一つは「感染力の強さ」です。従来のアルファ株より約60%感染力が強いことが分かっています。二つ目は「重症化のリスク」です。これもアルファ株に比べると約2倍重症化のリスクが高くなるとされており、高齢者だけでなく若者の重症化リスクも増加します。三つめは、ワクチンの予防効果の問題です。日本で使用されているファイザー製とモデルナ製のワクチンの場合、1回接種では感染を防ぐ効果は不十分で、2回接種である程度の感染抑制効果があると言われております。国民の50%以上が2回のワクチン接種を済ませたイギリスでも5月に入って新規感染者が急増しており、その多くがデルタ株の感染者とされています。さらにここに来て、南米で流行しているラムダ株の感染力の強さとワクチン抵抗性が注目されており、6月13日からブラジルで開催されているサッカーの南米選手権(コパ・アメリカ)では、198名の大会関係者(うち選手と代表団メンバーは58名)の感染が出たとのこと(6月28日現在)。ワクチン接種が広がり国内の新規感染者数がいったん抑えられても、オリンピックなどを契機にこのような新しい変異株が広がる可能性も十分考えられることから、ワクチン接種後も、換気の徹底、多人数での会食を避ける、外出時のマスクなど、これまでどおりの感染対策は続けていく必要があります。もうしばらくは我慢の日々が続きます。\*一部、徳田安春先生の書かれた文章を参考にさせていただきました。

## 今年の東京五輪開催に私は反対です

スポーツは自分でやるのも観るのも大好きです。自分がこれまでやってきた陸上競技や競技スキー、テニス、ゴルフなどには特に興味があり、最近では、女子陸上長距離の新谷仁美選手の走りや生き方に共感しています。ただ、「オリンピック」と聞くと、選手の皆さんには申し訳ないのですが、正直「ウンザリ」という気持ちが強いです。何がイヤかというと、オリンピックの期間中、毎日毎日、今日は金メダルを何個とったとか銀メダルが何個だったとか、メダル、メダルって小学生の駄菓子屋の景品でもないだろうに、マスコミがうるさすぎます。五月の蠅と書いて五月蠅い、そんな喧嘩が私は大嫌いで、昨年(2020年)のオリンピック開会式の日には日本を離れる予定を立てていました。(コロナ渦で旅行も開会式も流れましたが)

そもそもスポーツは基本的に個人競技です。サッカーや野球なども「チーム」という「個」の戦いであって、国全体でメダルを何個とったとか、そんなことは何の意味もないと思っています。国別に競うのなら個々の競技でワールドカップというものがあるわけので、そこで応援したらよいのです。

1964年の東京オリンピックの開会式、たしかその日は学校が早く終わって(小学3年生でした)家に帰ってTVを見た覚えがあります。戦争が終わって19年目、ということは日本の成人はすべて戦争体験者だったわけで、あの青空の下の開会式は、国民の大多数にとってまさに「悲惨な戦争・敗戦からの復興五輪」であったのでしょうか。(もちろん、その陰で、東京の街を壊して醜い高速道路が張り巡らされたり、翌年の五輪後不況もあったのですが)あの時の感激が、日本人に「オリンピック幻想」をもたらして今に至っているのだと思います。しかし、今の時代、オリンピックを開催することは、それにより経済的恩恵を受ける一部の人たち以外の国民にとってどういうメリットがあるのでしょうか?「世界に日本の事を知ってもらおう」などと喧伝する人たちもいますが、前回のリオデジャネイロオリンピックで私たちがブラジルの何を知ったというのでしょうか?今回、これを書いている時点で、オリンピックが本当に開かれるのかどうかはわかりません(開催されるのでしょうか)し、これを機にコロナ感染がどれくらい広がるのかも予想はできません。また、この大会を目標に頑張ってきたアスリートが、今、苦しい立場におられるのも理解します。しかし、それ以上に多くの人々が明日の生活を営むためにがんばっているのです。私の好き嫌いは別としても、今、新型コロナ感染症から自分たちの命と日々の暮らしを守らなくてはいけない時期に、オリンピックを開催する必要はない、と私は考えています。



## 患者様へのお知らせ

7月より武内医師の診察日が、第1第3木曜のみとなります。患者様にはご迷惑をおかけいたしますが、どうぞご理解のほどお願い申し上げます。

8月14日(土)を休診とさせていただきます。

## お車で来院される患者様へ

歩行者や近隣の方の迷惑になりますので、駐車場の指定されたスペース以外、及び、クリニック周辺の道路には、絶対に車を駐車されないようにお願いします。駐車場のアイドリングもおやめください。